

高森台中学校ブロック

母親委員会だより

VOL. 1 (H22. 10)

皆さん こんにちは

高森台中学校ブロック 母親委員会です

私たちは、高森台（7名）、中央台（4名）、
東高森台（5名）の3つの小学校と、
高森台中学校（7名）、総勢23名の母親委員で
活動しています。

よろしくお願いします。

「ブロック」って？

春日井市には39の小学校と、15の中学校があります。
あわせて54校からなるのが、
「春日井市小中学校PTA連絡協議会」 略して「市P連」
です。

ブロックとは市P連を組織する54校を、中学校区ごとに
中学校1校につき、2～4校の小学校をまとめた単位です。
したがって市内には15ブロックあります。

高森台中ブロックでは、母親委員会主催の研修会や
校外事業など、ブロック単位で活動します。

2010年度

活動計画

第1回 ブロック研修会及び総会 「柏餅づくり」

中央台小学校 5月17日(月) 10時

講師 平八堂さん *実施済み

第2回 ブロック研修会 「スイーツストラップづくり」

高森台中学校 6月24日(木) 10時

講師 夏目有香さん N'S ROOM ミチアヲト *実施済み

第3回 ブロック研修会 「楽しい絵本の世界」講演

東高森台小学校 7月 5日(月) 10時

講師 石田見子先生 *実施済み

第4回 ブロック研修会 「救急救命法」

高森台小学校 11月19日(金) 10時

指導 春日井市消防署

第5回 ブロック研修会 「ミステリー講習会」

近日発表! 何をするのかはお楽しみに!

第6回 ブロック研修会及び総会 講演会予定

中央台小学校 2月 3日(木)

講師 未定

活 動 報 告

New
5月

市P連 総会

5月15日 at 春日井市総合体育館

市P連の総会に出席しました。

母親委員会は、市P連の規約に基づき設置されており、母親委員長は、各校校長先生、PTA会長とともに市P連会員となっています。

議事は、いくつかの質疑の後承認され、無事閉会しました。

その後ブロックごとの情報交換会が行われ、高森台中ブロックでは、平成24年度の研究発表に向けての話がありました。

第1回 ブロック研修会及び総会 「柏餅づくり」

5月17日 at 中央台小学校

新年度の活動開始にあたり、高森台中学校ブロックの総会を開催しました。

他校母親委員の皆さんとの初顔合わせということで、会場は緊張した雰囲気でしたが、高森台中母長から

「ほかの部のように直接子どもたちのために作業するではありませんが、自分たちのためになる活動が多いのが母親委員会です、一年間、一緒に楽しみましょう」

と挨拶いただき、場が和んだところでそれぞれ自己紹介のほか、年間の活動計画を確認しました。

その後、研修会として講師に平八堂さんをお招きし、柏餅の作り方を教えていただきました。蒸し上がった生地をこねるのに結構力がいりましたが、さすがは”母親”の集まり、どの班も手早く餡を包んで形を整えていました。

最後に、柏の香りの中、お茶とできたてのお餅をいただき、早速、”自分たちが楽しめる”母親委員会初めての活動を終えました。

New
6月

市P連研修会及び

6月23日

第一回母親委員会運営委員会

at 東部市民センター

市内小中学校54校の母親委員長、母親委員の皆さんの参加で、盛大に開催されました。今年度事業計画の確認のほか、紙媒体で発行していた各ブロックの母親委員会だよりの電子化移行の説明がありました。

これまで一部の方しか見ることはできませんでしたが、移行後はより多くの方に見ていただけるようになり、同時にペーパーレスの推進が図れます。今後は、市P連のHPに掲載され、他校のものもご覧になれますので、ぜひアクセスしてみてください。

委員会終了後、「世界がもし100人の村だったら」の訳者、池田香代子さんの講演を聴きました。池田さんは、ドイツ文学翻訳家としてご活躍の傍ら、難民の支援なども続けておられます。広い見識に裏打ちされた数々のお話は説得力があり、我がことを振り返る良い機会になりました。

一部を紹介いたします。

池田さんは、「子どもたちに夢を持たせてあげてください」と、話されました。世界を見れば、年間880万人の子どもが5歳になる前に生涯を閉じています。

「日本の子どもたちは、世界でも上澄みのような幸せな世界に生きているのに、明るい将来を展望できていない、それは、大人の責任が大きいのでは」と、指摘されました。

例として、OECDが実施している国際比較による学習到達度調査で、毎回順位を落としている日本の子どもたちの学力について、「マスコミの情報などから結果のみで判断する大人の『今の子どもたちはだめ』という不用意な言葉で子どもたちは自信を無くしていってしまう」といったことを挙げられました。

「日本は無作為に選んだ15歳の生徒が対象であるのに対し、新たに参加した国の中には、国の威信をかけ生徒が選抜されていたり、11時間授業の詰め込み教育をしている国があり、そういった背景から日本の子どもたちの学力が低下しているのではないことを、大人が正しく理解してほしい」と、話されました。

社会の出来事を、情報に振り回されず、責任ある言葉で子どもにどう伝えるべきか、ものごとの本質を見る重要性に気づかされました。

日本も景気の悪化などで不安な昨今ですが、生きていくことさえ困難な世界の子どもたちを思ったとき、その生活環境や貧困の差はどうでしょう。私たち大人は、漠然とした負の価値観を子どもに押しつけるのではなく、子どもたちが夢を持ち、育くんでいけるよう、世界でも稀有な平和な国に生き、すべての子どもが小中学校で勉強できる幸せをこそ、もっと子どもたちに伝えたいものです。

池田さんの、子どもたちに向けられる温かい目、世界中の人々を思う気持ちに触れることができた、貴重な時間でした。



第2回 ブロック研修会

「スイーツストラップづくり」

6月24日 at 高森台中学校

N'S ROOM ミチアサト 夏目有香さんを講師にお迎えして、スイーツストラップを作りました。モチーフが「スイーツ」ということで大変な人気で、61名ものお母様に参加頂き、急遽、会場を広い教室に変更したほどでした。今回教えて頂いたのは、ドーナツとマカロン。樹脂粘土を歯ブラシでたたき、楊枝でつつき、

シリコンをクリームのように絞り、デコソースをチョコのように塗ります。すると粘土がまるで本物のドーナツやマカロンようになっていくのがとてもおもしろく、かわいいミニチュアクラフトの世界を楽しみました。

私も含め、日頃家事に追われがちなお母様方には、ほんのひととき、豊かな気持ちになれるちょっぴり贅沢な時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。

用意していただいた材料はみな同じでしたが、参加の皆さんのセンスがひかる61通りの作品が、それぞれ完成しました。



New
7月

第3回ブロック研修会 「楽しい絵本の世界」講演

7月5日 at 東高森台小学校

読み聞かせの第一人者でいらっしゃる石田見子先生の講演を聴きました。読み聞かせは、子どもの心を豊かに育てる有効な方法であることは、皆様よくご存じのことと思います。

石田先生が心がけておられる読み聞かせのポイントをうかがいましたので、ご紹介します。

まず、絵本は、救いがあっておもしろい内容のものを選びます。傾向として親は、教訓を含んだ本を選びがちですが、そういうことより、わくわく感を共有することが大事で、あとはページをめくる「間」、心を込めてゆっくりと、そして意外でしたが、声色を変えずに読むということも大切だそうです。

また、読み聞かせをしていても効果が現れない、という方へ、先生は、「大人になって、自分を表現するときに、生きてきます」と、お話されました。

読み聞かせのデモンストレーションでは、なんと私たちが次のページにワクワク、読み方を学ぶのも忘れ、いつの間にか、絵本の世界に入っていました。

大人でも読んでもらおうとこんなにわくわくするのですから、子どもはどれほどでしょう。もっともっと子どもに絵本を読んであげたいと思いました。

また、絵本に年齢はない、という先生のお話から、難しい年頃になってきた娘や、年老いた母に読み聞かせをしてあげたら、いつもとは違ったコミュニケーションができそうで、「絵本イコール子ども」の思いこみがなくなりました。



最後に、本当の「三匹のこぶた」のお話をうかがいました。三匹のこぶたの兄弟が、悪いオオカミをこらしめるストーリーで有名ですが、原作では兄弟の

区別はないそうです。貧乏で育てていくことのできなくなった母親がこぶたたちを家から出し、それぞれ家を作ることになります。しかし、簡単にできるからとわらや木の家を作ったのではなく、たまたまわらの束をもった男に会い、分けてもらって建てたのがわらの家でした。木の家、レンガの家も同様で、働き者の末っ子ぶたを良し、とするニュアンスはないようです。

悪いオオカミをこらしめた三匹は仲良く暮らす、というエンディングも、最後に残ったのはレンガの家を建てたこぶた一匹で、原作ではほかの二匹はオオカミに家を吹き飛ばされた時に食べられてしまいます。そして残ったこぶたを食べようとするオオカミも、食べられまいとするこぶたとの知恵比べの末に煙突から入ろうとして鍋に落ち、レンガの家のこぶたが食べた、という、何ともシュールな結末を迎えます。

初めて聞く参加者も多く、会場は、（そうだったの？）という雰囲気。

運も知恵もなければ生き延びられない、という、現実的なお話だったようです。

私たちが知る数々のお話も、「本当の話」というものが存在するのだとしたら・・・
まだまだ興味深い、絵本の世界でした。

次回予告

11月19日（金） 10時
at 高森台小学校 体育館

第4回ブロック研修会
「救急救命法を学ぶ」 を 開催します。
緊急事態の際に冷静でいられる人は少ないと思います。
それでも、救える命があるなら、救いたい。そのために、日頃から
繰り返し講習を受け、準備しておくことはとても重要なことです。
春日井市消防署の方にご指導頂く予定ですので、ぜひご参加下さい。

編集後記

委員になり、すべての講習会に参加して思うのは、これまであまり興味ないとか、何か作るのは苦手とかで参加してこなかったことが、もったいなかったな、ということ。

やってみたら楽しかったり、参加したから聞けたお話があったりと、自分にはない価値観にふれることで、自分が磨かれるのを感じます。 親としてのスキルを上げることは、子どもと関わる中でとても意味のあることだと思います。

高い参加費も、遠方へ出向く面倒もない気軽にできる自己投資。

各校開催のふれあいセミナーや、母親委員会共催の講習会へ、ぜひお出かけ下さい。



親が笑顔でいること、それは子どもたちの笑顔を守ることです。 *Let's join us!*